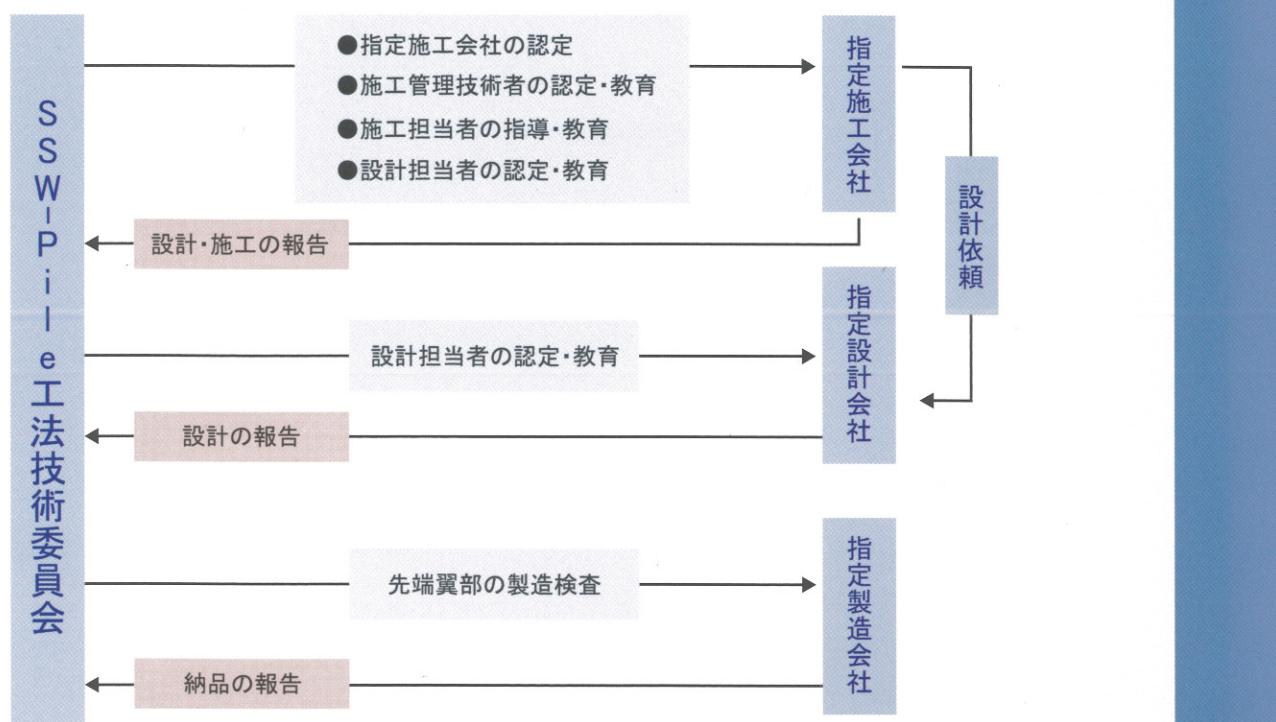
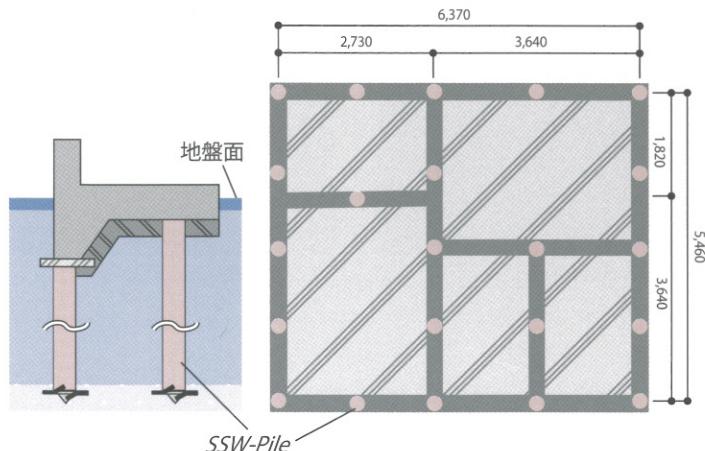


●工法の管理体制図●



●適用例●



SSW-Pile

Small-Size Wing-Pile (エスエスダブルピューパイル)

SSW-Pile 工法協会

[事務局] 株式会社 奈良重機工事
〒458-0023 愛知県名古屋市緑区鴻仮目1丁目115番地
TEL.052-877-8281 sswpile@narajuki.jp

ご注意とお願い

◆本資料に掲載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したもの以外は保証を意味するものではありません。◆本資料に記載されている情報の誤った使用、または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。◆これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がございますので、最新の情報につきましては各担当部署にお問い合わせください。◆本資料に記載された内容の無断転載や複製はご遠慮ください。

先端翼を有する小口径柱状地盤補強

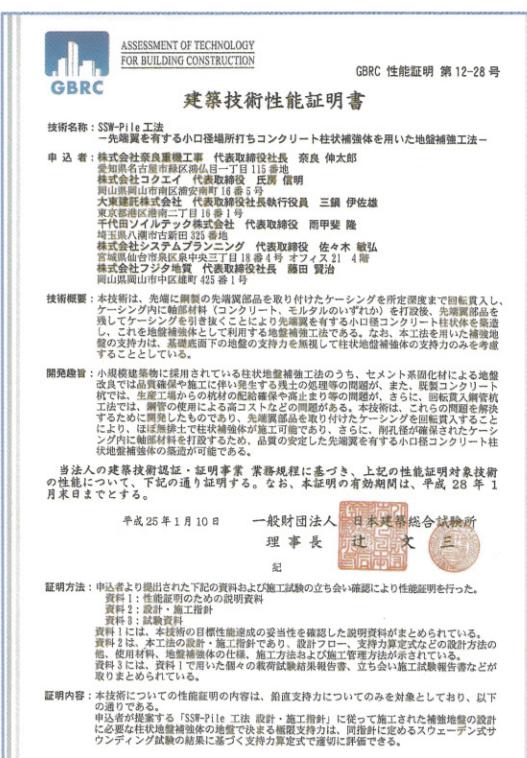
SSW-Pile

Small-Size Wing-Pile (エスエスダブルピューパイル)



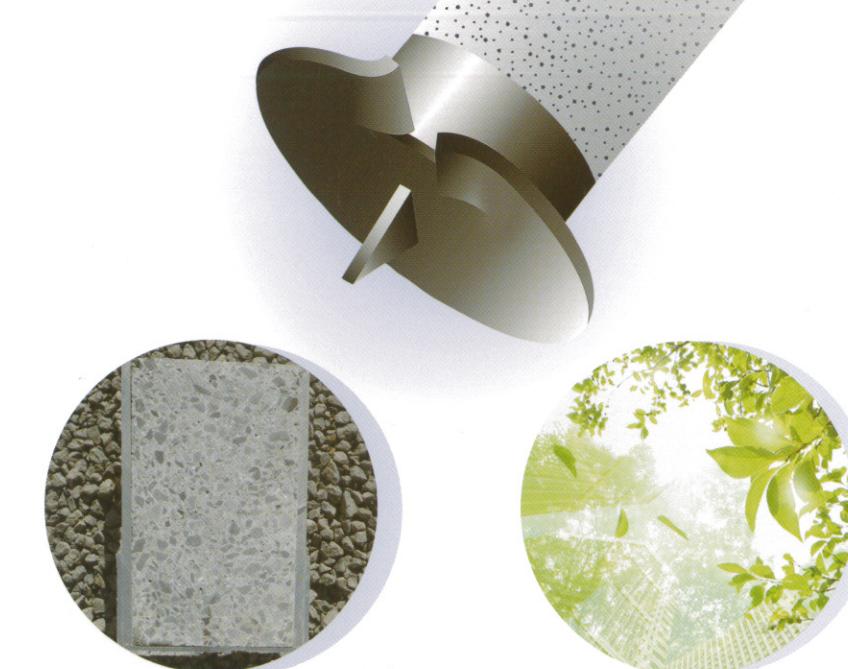


SSW-Pile工法は、直径216.3mmのケーシングの先端に独自に開発した直径350mmの先端翼を取り付け、生コンなどを打設します。



証明された信頼性

日本建築総合試験所(GBRC)の性能証明を取得。



ローコスト・安定した品質

SSW-Pileに使用する注入材は生コンなどを打設するため、ローコストで品質が安定しています。

より環境へやさしく

残土排出はほとんどありません。施工による土圧は鋼管杭と同じ程度。まわりの建物への悪影響は少ないです。また、施工時に粉じんが舞うこともあります。もちろん、低騒音・低振動。

●適応構造物●

接地圧が50kN/m²以下で、かつ、下記の①～④の条件をすべて満たす建築物および高さ3.5m以下の擁壁に適用します。

- ①地上3階建て以下
- ②高さ13m以下
- ③軒の高さ9m以下
- ④延べ面積1,000m²以下

●適応地盤●

砂質土、粘性土、ローム地盤。
腐植土層が介在する場合は、腐植土層の周面摩擦力は期待しません。

●仕様●

SSW-Pile 軸径: Ø216.3mm
先端翼径: Ø350mm
SSW-Pile 長: 10m以下 (最大施工深度: 施工地盤-10m)
最小芯間隔: 90cm
SSW-Pile 頭部の納まり: 基礎または捨てコンクリート下端
注入材: 下記のいずれかとします。

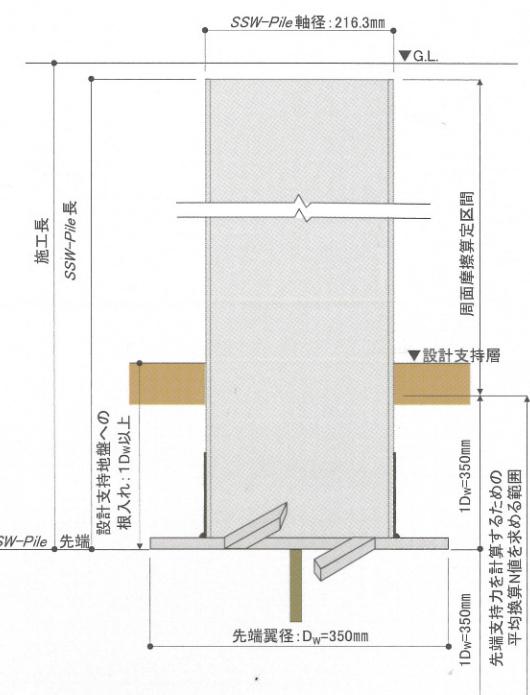
- ①コンクリート
- ②モルタル



先端翼の外観



回転貫入用ケーシング



施工手順

